

ユニセフを
とりあげた

総合的な学習の時間

小学校「国際理解」の実践事例



平成14年度、小学校、中学校では、「総合的な学習の時間」にさまざまなユニセフの取り組みが実施されました。

東京都大田区立東調布第一小学校で、高橋邦子先生が中心となり、5年生の「国際理解」としてユニセフ活動に取り組みました事例をご紹介します。(誌面の都合上、すべてをご紹介できません。一部省略しています)

単元名 「みんな友達、世界の子ども」

単元の 目標

- ・世界の問題やユニセフの活動に目を向け、問題意識を持つ。
- ・協力して募金活動の計画を立てたり、募金活動をしたりする。
- ・平和を大切にしようとする感性を養う。

活動計画【全60時間】

▶ふれる ユニセフってなあに?! 【7時間】

- ・各自でユニセフについて調べる。(図書館、インターネット他)
- ・わかったことを新聞にまとめる。

▶つかむ 世界の子どもたちの問題 【12時間】

- ・互いの新聞を読み合う。
- ・興味をもった内容ごとにグループを組む。
- ・グループでまとめた内容を発表する。(情報交換)
- ・学習の方向を決める→深刻な問題ばかり。放っておけない。なんらかのかたちで協力(活動)したい。

▶見通す・調べる 活動の実現に向けて 【13時間】

- ・自分たちにできそうなことを話し合い、グループを組む。
- ・活動実現に向け、必要な作業を確認し、日程を組む。

- ・日本ユニセフ協会に連絡を取り、相談会の依頼をする。
- ・ゲストティーチャーへの質問を整理する。
- ・相談会の計画と準備。
- ・相談会をひらく。
- ・活動の修正と最終準備をする。

▶実践 さあ、力を合わせよう! 【15時間】

- ・それぞれの活動に取り組む。
- ・活動の成果をまとめ、日本ユニセフ協会に送る。
- ・活動の継続。

▶まとめる 来年の5年生に伝えよう! 【13時間】

- ・伝える目的・方法を考え、発表会の計画を練る。
- ・発表会の準備をする。

本時の活動 (要点のみご紹介)

評価：ユニセフについて理解を深め、学習活動への意欲を高めることができたか。
ゲストティーチャーとのやりとりで計画を修正したり、見通しを立てることができたか。

学習活動	支援						
1. 学習したい内容の確認をする。 2. ゲストティーチャーのお話をうかがう。 3. ビデオ「ユニセフと地球のともだち」を視聴する。 4. 資料から学ぶ。 <table border="1" style="display: inline-table; margin: 5px;"> <tr> <td>水がめ体験</td> <td>経口補水療法</td> <td>パネル・地雷</td> </tr> <tr> <td>水を手に入れる苦労 川や池の水→げり・病気 水がめ運び体験</td> <td>脱水症状で命を失う 経口補水塩のはたらき 試飲</td> <td>貧困・紛争・児童労働 子どもの権利 蝶型地雷</td> </tr> </table>	水がめ体験	経口補水療法	パネル・地雷	水を手に入れる苦労 川や池の水→げり・病気 水がめ運び体験	脱水症状で命を失う 経口補水塩のはたらき 試飲	貧困・紛争・児童労働 子どもの権利 蝶型地雷	◆ 活動の流れを確認する。 ◆ 児童が調べたことを想起させ、共通理解できるような内容のビデオにする。 ◆ 全体を3グループに分けて活動する。ゲストティーチャーとのやり取りを通して問題点やユニセフの大切さを実感できるようにする。 ◆ ユニセフ活動に参加する動機を一人一人にもたせる。 ◆ ワークシートを用意する。
水がめ体験	経口補水療法	パネル・地雷					
水を手に入れる苦労 川や池の水→げり・病気 水がめ運び体験	脱水症状で命を失う 経口補水塩のはたらき 試飲	貧困・紛争・児童労働 子どもの権利 蝶型地雷					
5. 問題に感じたことをまとめる。 1. 学習したい内容の確認をする。 2. 相談会 ゲストティーチャーに確認する。 <table border="1" style="display: inline-table; margin: 5px;"> <tr> <td>募金</td> <td>募金</td> <td>文房具・手紙・絵</td> </tr> <tr> <td>募金活動には何を 用意するのか</td> <td>募金の送付先 実施のコツ</td> <td>ものは送れないのか 募金以外の協力方法</td> </tr> </table>	募金	募金	文房具・手紙・絵	募金活動には何を 用意するのか	募金の送付先 実施のコツ	ものは送れないのか 募金以外の協力方法	◆ 活動の流れを確認する。 ◆ 進行役は児童に任せ、担任は補助にまわる。 ◆ 活動の時間を十分にとるため、3つのグループに分けて活動する。 ◆ ワークシートを用意する。 ◆ 資料の見学時間をとる。 ◆ ユニセフの活動は改善するための知識の普及であることを気づかせる。
募金	募金	文房具・手紙・絵					
募金活動には何を 用意するのか	募金の送付先 実施のコツ	ものは送れないのか 募金以外の協力方法					
3. ゲストティーチャー提供の資料を見る。 4. 活動を振り返り、成果や感想を発表し合う。 5. ゲストティーチャーのお話をうかがう。							

●●● 高橋邦子先生のコメント ●●●

募金活動をする時の注意―場所を借りる時のお願いの仕方、断られた時の対応、募金の呼びかけ方などの助言をしました。募金活動をする時は並び方や、募金箱の個数など、工夫が必要だということがわかったようです。

●●● 子どもたちの感想 ●●●

● 世界の子どもが同じでないことがよくわかった。● 1回きりで終わらせないのが一番大事なことだと思った。● がんばって集めたお金で、いろいろな人たちが助かるといいなあ。5年生全体の気持ちです。(この他にも素晴らしい感想をたくさんいただいています)



参考資料のご紹介

- 春の学校向け資料
 - ・「2003ユニセフ活動の手引き(活動の事例集を手引きの中にはさみこんでいます)」5月末までに各学校へ発送予定です。ご確認ください。
 - ・「ユニセフで学ぶ『総合的な学習の時間』」いずれも(財)日本ユニセフ協会発行
お問い合わせは学校事業部へ ☎03-5789-2014
- ユニセフライブラリーでビデオ、パネルを貸し出しています。
お申し込みは ☎03-5471-7091

お知らせください! ユニセフ活動の実践事例

ユニセフで学習活動に取り組みました事例をぜひ、お知らせください。ご紹介していきたいと思ひます。

